

ゴ ミ ゼロ 5 3 0 レポート

第71号 2020年11月30日 発行

編集と発行 530運動環境協議会
〔豊橋市今橋町1番地 豊橋市役所環境政策課内 電話(0532)51-2399〕
〔URL <https://www.530toyohashi.jp/> E-mail 530@city.toyohashi.lg.jp〕



汐川干潟クリーンアップ大作戦でドローンにより上空から撮影

今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、全市一斉の530運動実践活動の自粛をはじめ、豊橋駅前クリーンアップ大作戦や幼児環境教育訪問指導、530のまち環境フェスタが中止になるなど、様々なイベントや事業を行うことができない状況となりました。一方で、9月には今年度初となるクリーンアップ大作戦を汐川干潟で実施することができました。ご参加いただいた皆様、感染症対策にご協力いただきありがとうございました。530運動環境協議会では、今後も感染症対策を行いつつ、豊橋市が530運動発祥の地にふさわしいまちとなるように、様々な取組を進めていきたいと思っておりますので、引き続きご理解とご協力をお願いします。

530会員募集のお知らせ

530運動環境協議会は、環境美化活動から省資源・省エネルギー、環境教育など、今後も様々な取組を行い、ごみがゼロになる社会を目指します。

本協議会では、活動に参加・協力していただく会員を募集いたしております。年会費は、法人・団体会員は1口1万円、個人会員は1口500円からです。協議会事務局窓口のほか、ホームページからもお申し込みいただけます。

目次

- 530運動環境協議会会長からのメッセージ …… 2
- 530運動における新型コロナウイルス感染症対策 … 2
- 汐川干潟クリーンアップ大作戦 …… 3
- 530運動環境協議会のホームページをリニューアルしました! … 3
- 45年前に始まった530運動（歴史のご紹介） … 4
- 新規会員紹介 …… 4

530運動環境協議会会長からのメッセージ ～コロナ禍における530運動について～

世界中が新型コロナウイルス感染症による影響を受ける中、530運動環境協議会も大きな影響を受けています。このようなコロナ禍における530運動について、530運動環境協議会の匹田会長からのメッセージを、この紙面をお借りして皆様へお伝えさせていただきます。



会長 匹田雅久

日ごろは530運動環境協議会へご支援・ご協力いただき、ありがとうございます。

530運動が始まって45周年を迎える年に新型コロナウイルスという感染症が広まり、530運動実践活動をはじめ、多くの事業を中止せざるを得ないこととなりました。そのような状況の中でも、美しい街の姿が保たれてきたことは、豊橋市民の皆様お一人お一人の街をきれいにしようというお気持ちのお陰と感謝しております。

530運動環境協議会は「自分のゴミは自分で持ちかえりましょう」を合言葉に、530運動を推進するとともに、幼児環境教育やごみ減量、省資源・省エネルギーといった様々な啓発活動に取り組んで参りました。しかしながら、いつまでも同じ取組だけでは前進がありません。節目を迎えた今年、新型コロナウイルスが大流行をし、終息を迎える時期も分からずコロナと付き合いながらの時期だからこそ、新たな視点でより住みよい街づくりを目指していきたいと思っておりますので、皆様方には、これからも格別のご高配を賜りますよう、お願い申し上げます。

530運動における新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症の影響で、私たちの日常生活に“新しい生活様式”が取り入れられるようになりました。530運動を実施するときの感染リスクを減らすため、「530運動で気をつけていただきたい5つのこと！」と題した530運動における新型コロナウイルス感染症対策をまとめたチラシやポスターを作成しました。

530運動を始める前から活動後の手洗いまでに気を付けていただきたいことを、5つのポイントとしてまとめました。特に注意していただきたいことは、「**飛沫が付着するごみは注意して火ばさみ等で拾う**」ことです。落ちているごみには、感染症の感染源の一つと言われる飛沫が付着するものもあるため、そのようなごみを拾う際には、細心の注意が必要です。その他にも、基本的な手洗い・うがいなど、530運動を実施するときには、3密を避け、十分に感染症対策をして活動をしていただきたいと思っております。チラシ・ポスターの内容は530運動環境協議会のホームページでもご覧いただけます。

530運動における新型コロナウイルス感染症対策の内容はコチラ！▶▶▶▶▶
(530運動環境協議会ホームページ)



530運動の感染症対策ポスターと530広報大使のいいたまきさん

汐川干潟クリーンアップ大作戦

9月27日(日)に開催した汐川干潟クリーンアップ大作戦は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大後、初めてのクリーンアップ大作戦ということで、感染症対策を行って実施しました。当日は530会員さんをはじめ、汐川干潟保全団体の方々など約180名もの方にご参加いただき、約580kgのごみを拾うことができました。

ポイ捨てされたプラスチックごみは、川を通じて海へ流れ着き、マイクロプラスチックとなって生態系へ影響を及ぼすと言われています。汐川干潟で拾ったごみを見てみると、様々なプラスチック製品がボロボロの状態で落ちていたことが分かります。ぜひ多くの方にクリーンアップ大作戦にご参加いただき、ごみのポイ捨てや海洋プラスチックごみの問題などについて考えるきっかけにいただけたらと思います。

また今回は豊橋市のドローン飛行隊にご協力いただき、作業風景を上空から撮影しました(今回の530レポートの表紙に掲載)。撮影した映像は、今後530運動環境協議会の取組紹介として活用していく予定です。



530運動環境協議会のホームページをリニューアルしました!

530運動環境協議会のホームページをリニューアルしました!リニューアルに伴って、URLが変わりましたので、お気に入り登録やリンクをされている場合は、登録変更をお願いします。より分かりやすい情報発信に努めていきますので、皆さん、ぜひアクセスしてみてください!



↑リニューアルホームページのトップ画面。
最新の情報を画像付きでお届けします!

リニューアル版ホームページのURL ▶▶▶
<https://www.530toyohashi.jp/>



スマートフォンにも対応
↓しています!



45年前に始まった530運動(歴史のご紹介)

今年は530運動が豊橋市から始まってから45周年となります。皆さんは、どのようにして530運動が始まったのかご存知でしょうか。今回は、530運動の始まりについてご紹介させていただきます。

高度経済成長を迎えた昭和40年代、豊橋市近郊に自然歩道が整備され、その利用者が増加する一方で、山道に捨てられる大量のごみが問題となりました。そのような状況の中、豊橋山岳会会長の夏目久男氏は、「自分のゴミは自分で持ち帰るのは登山者のモラルであり、社会全般にも適用される」と考え、「自分のゴミは自分で持ち帰りましょう」を合言葉に530(ゴミゼロ)運動の推進を豊橋市へ提唱しました。豊橋市はその訴えを受け止め、全市民的な一大市民運動とすべく、官民一体の530運動推進連絡会(現在の530運動環境協議会)を設立しました。そして昭和50年11月11日には初の全市一斉の530運動実践活動が開催されました。

その後、530運動は誰でもどこでも取り組める気軽さと、「ゴミゼロ」というネーミングのユニークさから、市外、県外、全国へと広がりました。



夏目久男 氏

新規会員紹介

新しく530運動環境協議会に入会していただいた団体の環境に対する取り組みなどについてご紹介します。

加山興業株式会社



弊社は、豊川市にある産業廃棄物処理会社です。ゴミの適正処理だけでなく、未来地球環境保全にあたり、SDGs達成に繋がる様々な活動に取り組んでいます。環境教育授業や、工場見学の受け入れによって、適切な分別やりサイクルの必要性について発信しています。また、KAYAMAみつばちプロジェクトにおける養蜂活動、環境に優しいクリーンエネルギー発電設備の導入など、幅広く事業展開しています。

日本たばこ産業株式会社豊橋支店



弊社では2004年より全国で「ひろえば街が好きになる運動」を実施しております。

コロナ禍において、豊橋支店でも地域のお役に立てることを実践しようと530運動環境協議会に入会させていただきました。現在、近隣商店街様の清掃活動への参加、月一回の支店周辺の清掃活動や3ヵ月に一度の広小路通りでの清掃活動などに取り組んでおります。

今後も530運動発祥の地である豊橋市の「住み続けられるまちづくり」に貢献して参ります。

(会社・団体名は五十音順)